

第3回蒲郡市ヘルスケア計画策定協議会 議事録（要旨）

■日時：平成25年10月29日（火）午後1時30分から午後3時30分まで

■場所：蒲郡市役所新館5階庁議室

■出席者：（座長）瀧本陽介委員

（委員）福原直樹委員、河邊義和委員、津下一代委員、堀心一委員（代理出席）

小池高弘委員、小澤素生委員、小澤洋介委員、金子哲三委員

鈴木良一委員、大原義文委員、鈴木富次委員

（オブザーバ）浅野俊明氏、大野康史氏、西本洋氏、柴田和久氏

（市・事務局）企画広報課 課長 吉見和也、他2名

■欠席者：（委員）岩尾聡士委員

■次第

1. 開会

- ・岩尾委員（ご欠席）の代理として出席された堀委員からごあいさつ

2. 趣旨及び策定経過のご報告

- ・前回の第2回協議会開催後、各委員のご意見を踏まえて、具体的な施策・事業の内容について検討を行い、計画素案としてとりまとめを行ってきた旨を事務局より説明

3. 議事

（1）計画（素案）について

- ・蒲郡市ヘルスケア計画（素案）【資料2】について事務局より説明

（2）意見交換

【計画全般について】

- ・本市として目指す方向を共有する指針として構想はとても大事である。
- ・国としてヘルスケアを推進する方向にあるなかで、先進的に取り組む自治体であるというアドバルーンをあげて、前向きな姿勢を示すことは意味がある。
- ・健康長寿と新産業を連携して効果的に進めてほしい。
- ・旗（計画）をあげつつ、できることを同時並行的に動かしていくことが大事である。
- ・蒲郡市のマーケットは小さいので、東三河での広域的な展開が大事である。

【第4章 重点施策】

- ・重点1は市民向けの健康づくり。重点2は先端的な産業の振興、重点3は外部から人を呼び込む施策。3段階の位置付けをわかりやすく整理してほしい。
- ・重点1は健康に直結しやすい施策、行動につながりやすい内容を検討するべきだ。
- ・市内事業所の社員の健康づくりは大きな課題である。地域と職域が連携した取組が重要になる。中小企業の社員を対象にしたプロジェクトを行ったらどうか。
- ・健康な市民のデータベースをつくり、新しい商品・サービスをその市民モニターで実験し、効果を短時間で正確に検証しやすくするなどすぐにフィードバックできる

インフラがあれば企業に喜ばれるのではないか。

- ・ずっと健診を受けていない人に働きかけてカバー率を高める施策は効果が高い。
- ・市民の健康意識を高めるプロジェクトなど、あまり予算もかけずにやれる取組から短期的には始めるべき。
- ・外部からの誘致も考えないとクラスター形成は難しい。他産業からの参入も視野に入れて、市内だけでなく外部でヘルスケアの関心のある事業者も対象にすべき。
- ・ヘルスケアに特化した立地優遇制度を設けて、アドバランとして掲げたらどうか。
- ・ヘルスツーリズムについては、観光において健康づくりとしてできることをモデル的に見せながら、日常に活かせるメニューを提示できるといい。
- ・広域的に他地域と連携して誘客するなど、蒲郡を外から評価してもらうのはどうか。

【第4章 基本施策】

- ・健康になることのインセンティブを付与するなどの施策も考えられる。
- ・地域で活躍の場を持つ市民は、自然に活動的になり、健康を維持できる。市民が家に閉じこもらず、社会との接点をもつ仕組みが大事。
- ・地域包括ケアの中に、健診による地域予防を新たに位置づけていったらどうか。
- ・エネルギー、モビリティ、ヘルスケアをつなげて世界初の取組を生み出したい。
- ・医療への市民の関心は確実に高まっている。医師や看護師を目指す人材の育成などで、コストをかけずにまちのイメージを高めることができるのではないか。
- ・本市の再生医療という資源を、市民が気軽に見えるようにする工夫が求められる。

【第5章 計画の推進にむけて】

- ・市民の健康づくりから産業面に波及していくような展開が望ましいのではないか。
- ・モニタリングや評価の仕組み、マネジメントと体制づくりの記述が必要である。
- ・具体的なゴールを設定して、関係者が一つの目標に向かって進めていくには、評価基準となる数値目標、収支計画等が必要ではないか。
- ・介護給付費、医療費伸び率等、他と比較できる指標は優位性を判断するうえで重要。
- ・どこから手をつけるのか見えにくい。具体的なモデル地域を決めるなど、来年からでもできるようなプロジェクトを立ち上げてほしい。
- ・計画策定後に、すぐに着手できるようにスピード感を持って進めるべき。
- ・連携を図りながら事業を推進するためには、つなぎ役となるコーディネータ人材や役割が重要であり、市の役割として期待される。
- ・他市に先駆けて国や県へ首長が積極的にアピールすることが大事。
- ・計画策定後、協議会などの推進体制を立ち上げについて検討していくとともに、ヘルスケアについての予算化を図る必要がある。

4. 事務連絡

(1) 次回開催

- ・第4回協議会の開催予定をご説明

(2) その他

- ・特別講演会と、第2回新ヘルスケア産業フォーラム交流会にて、鈴木良一委員が副市長として蒲郡市ヘルスケア計画の策定状況について発表することの報告。

終了